

－ 揖斐川河口周辺 エリア － 水辺空間利活用計画(案)

1. 計画の概要	p. 1
2. 地域の現況	p. 5
3. 取組み経緯	p. 11
4. 水辺空間の利活用計画	p. 23

2023年12月25日 Ver.

1.計画の概要

(1)計画概要

- 桑名市は、水と緑豊かな自然環境のもと、江戸時代から東海道随一の宿場町として栄え、特に木曾三川を臨む住吉地区には、文化的・歴史的資源が多く存在するだけでなく、開放的な水辺の景観を楽しむことができるなど魅力的な資源が豊富に存在しています。
- このエリアを観光都市として創造し、これらの資源を最大限に活用した持続可能な賑わいを実現するために、国土交通省木曾川下流河川事務所や桑名市、桑名商工会議所、地域のまちづくり組織などで「桑名市かわまちづくり協議会」を設立しました。従来は河川用地内で営利活動はできませんが、このエリアの規制緩和を進めています。
- 本計画は、都市・地域再生等利用区域の指定を目指して、民間主体のイベント等や常設で運営する店舗の出店などによる水辺空間の賑わい創出に資する水辺空間利活用計画を提案するものです。

(2)計画地

- 計画の対象区間は、三重県桑名市の中心市街地に隣接する揖斐川河口周辺エリア(住吉地区及び七里の渡し周辺)とします。

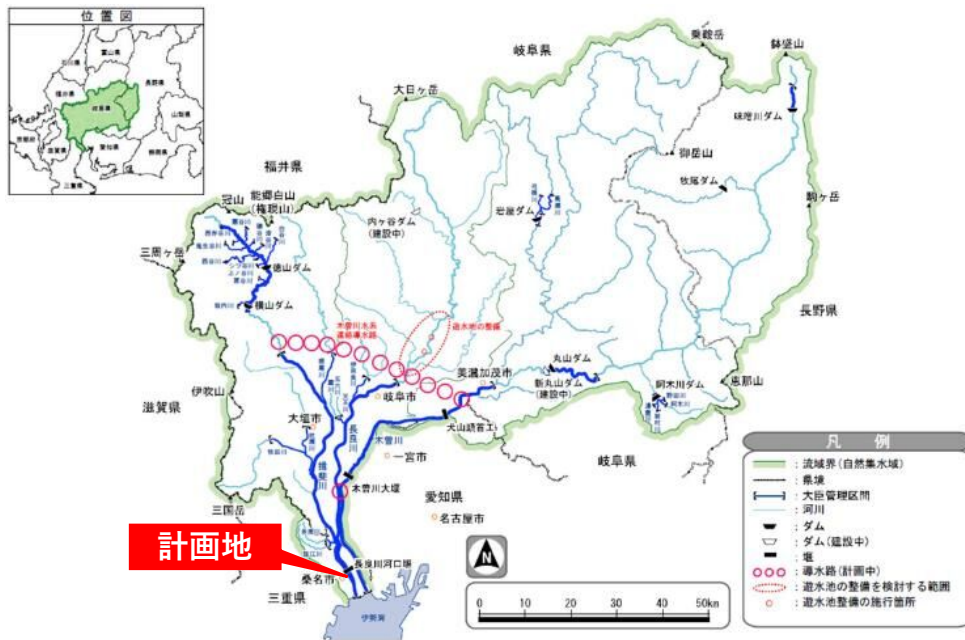


図1.1 木曾三川流域図

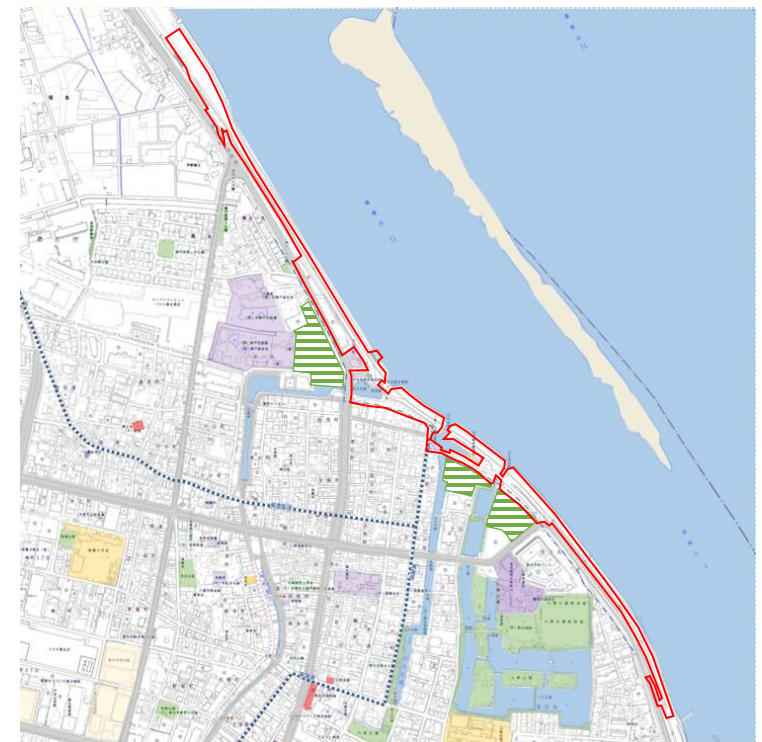


図1.2 計画地位置図

1.計画の概要

(3)計画の背景

- 桑名市の市街地に近い揖斐川右岸は、古くは東海道の宿場町桑名宿として栄え、桑名城跡、六華苑、七里の渡跡などの**歴史的資源を有する魅力的な地域**ですが、**持続的な賑わいが生まれていない**状況です。
- 国土交通省では、河川敷地占用許可準則の改正以来、河川空間オープン化の事例が全国で増加しており、本エリアにおいても、地域との連携や魅力発信、新たな活用による賑わい創出が望めます。
- 賑わい創出に向けては、地域住民の利用機会が増加することが必要であり、また、地域の魅力発信等により、新たな利用者層を獲得していくことが望めます。

(4)計画の目的

- 東海道随一の宿場町として栄えた計画区域周辺に点在する桑名ならではの魅力的な文化的・歴史的資源等を活用し、その**ポテンシャルを活かしたまちづくりの実現**を目指します。
- 揖斐川右岸の水辺空間では、桑名の中心市街地に不足しているオープンスペースを提供し、民間主体のイベント等や常設で運営する店舗の出店などによる水辺空間の賑わい創出を目指します。



図1.3 利活用の方針

◆ 参考:都市・地域再生等利用区域(河川空間のオープン化)について

- 河川敷地の占用主体は原則として公共性・公益性を有する者ですが、「河川をにぎわいのある水辺空間として積極的に活用したい」という要望の高まりを受け、平成23年度に河川敷地占用許可準則を改正し、一定の要件を満たす場合、営業活動を行う事業者等も、河川敷地の利用が可能となりました。これを「河川空間のオープン化」といいます。
- 平成28年度には、民間事業者等の方が安定的な営業活動を行えるよう、準則を改正し、民間事業者等への占用許可期間を「3年以内」から「10年以内」へと延長しています。

<河川空間オープン化が適用される要件>

- 河川敷地を利用する区域、施設、主体について地域の合意が図られていること。
- 通常の占用許可でも満たすべき各種基準に該当すること。(治水上及び利水上の支障がないこと等)
- 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。

<占用許可が可能な施設>

「都市・地域再生等利用区域」では、準則第22第3項に規定する広場やイベント施設をはじめとして売店、オープンカフェ、広告板、船上食事施設、川床などの設置が可能です。

- ① 広場、イベント施設、遊歩道、船着場
- ② 前述の施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場、切符売場、案内所、船舶修理場等
- ③ 日よけ、船上食事施設、突出看板、川床
- ④ その他都市・地域の再生等のために利用する施設

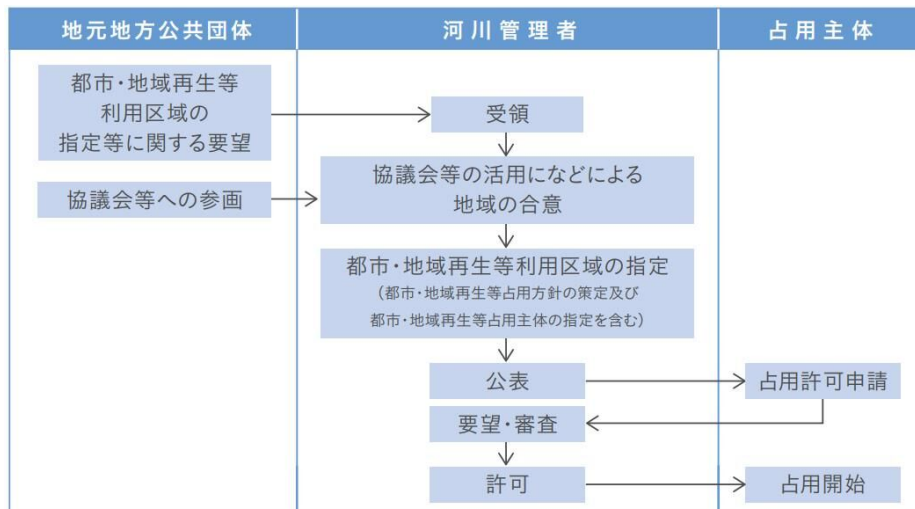


図1.4 制度の手続き(基本的な流れ)

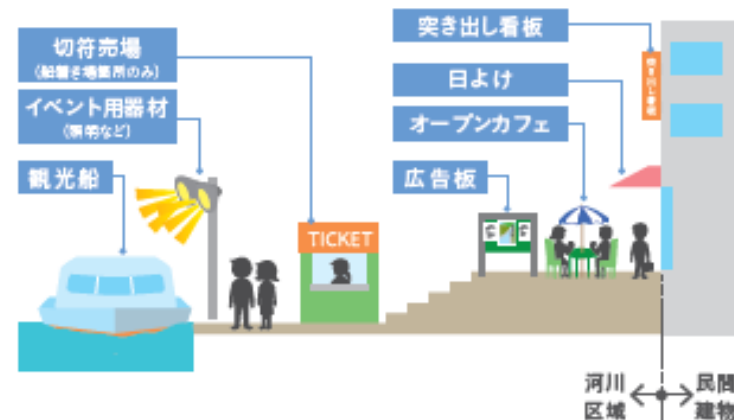


図1.5 制度のイメージ

2.地域の現況

2.地域の現況

(1)桑名市の概況

1)市の概況

- 桑名市は、名古屋市から25km圏域という地理的優位性、公共交通機関のアクセスや道路ネットワークの良さを活かし、名古屋圏の優れたベッドタウンとなっています。
- 古くから水上交通・陸上交通の要衝として栄え、室町時代の桑名は「十楽の津」と呼ばれるほどの流通の拠点でした。江戸時代には、東海道五十三次の42番目の宿場町として、東海道唯一の海上路を結ぶ渡し場がおかれました(七里の渡し)。また、伊勢国の東の玄関口として、伊勢神宮への参宮客や東海道を行き来する多くの人を迎えていました。
- 「全国水の郷百選」に選ばれた長島地区の水辺環境など、豊かな自然にも恵まれ、自然と都市部が共存する住み良いまちの一方、長島地区を含む木曾三川の下流域は、輪中という特徴的な地形で知られ、水害との闘いの歴史を積み重ねながら水屋など独自の文化を形成しています。
- 産業は、木材加工などの工業や商業、農業、ハマグリ等の水産業など地域に根ざした産業が発展してきました。

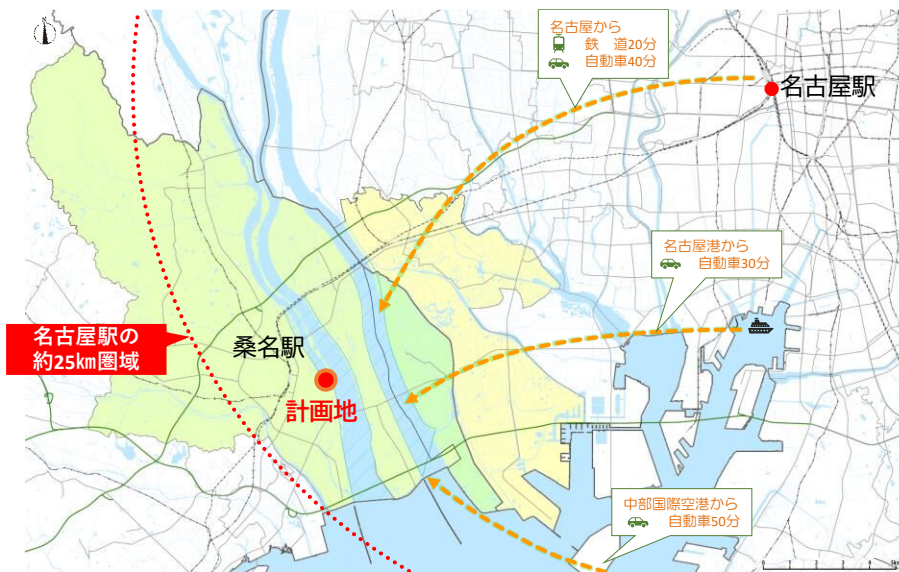


図2.1 桑名市・計画地の立地状況



図2.2 木曾川三川下流域空中写真



七里の渡跡
(桑名市観光協会HP)



はまぐり
(桑名市観光パンフレット)

2.地域の現況

2)土地利用

- 桑名市都市計画マスタープランでは、木曾三川は、都市の骨格となる河川軸として位置づけられ、「人と自然がふれあうことができる水辺空間を形成」していくこととされます。
- 計画地周辺は、市街化区域で人口集中地区にあり、商業地域や住居地域などの用途地域に指定されています。

<桑名市都市計画マスタープランにおける位置づけ>

○都市整備の目標

- “快適な暮らし”を実現するまちづくり
- “桑名市の魅力(=本物力)”を活かしたまちづくり
- “市民力”を活かしたまちづくり

○河川・水辺の保全整備

都市の骨格で河川軸となる木曾三川と市街地を流れる中小河川やため池を保全するとともに、漁業振興との調整を図りながら生物が生息できる多自然型護岸への整備や河川沿いに遊歩道の整備など、人と自然がふれあうことができる水辺空間を形成します。

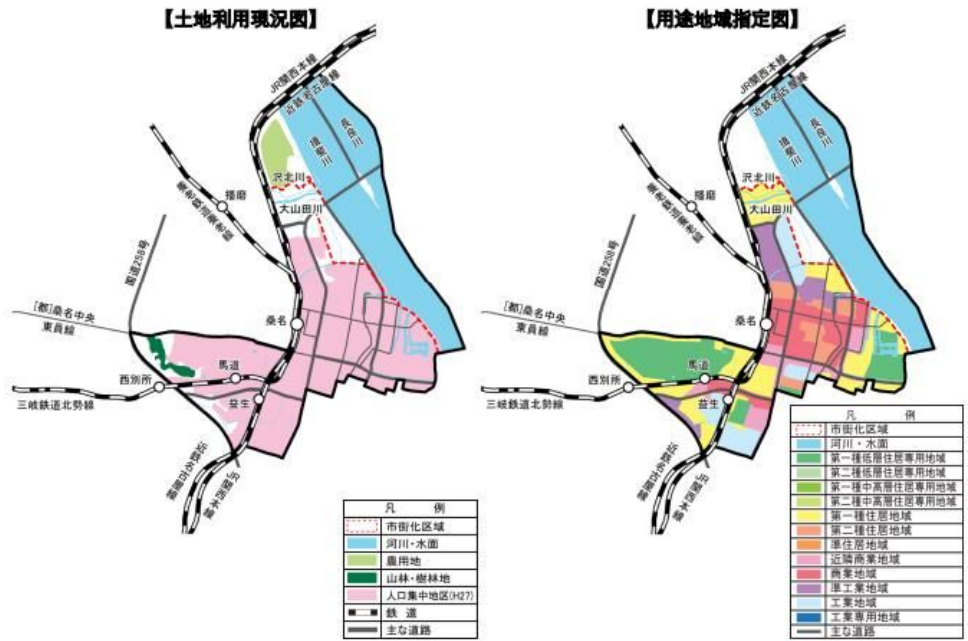


図2.3 地域の現況(精義・立教・益世・修徳地域)



図2.4 都市計画マスタープランにおける土地利用方針図

2.地域の現況

3)地域資源

- 揖斐川沿川(右岸4-5km付近)には、桑名城天守跡、九華公園、七里の渡跡等の歴史的資源や公園緑地が集積しており、河川とともにまちが形成されてきたことがうかがえます。
- 長島町(揖斐川左岸)には、なばなの里やナガシマスパークランド等の大型観光施設が立地しており、多くの観光客を誘致しています。



図2.5 地域資源図

出典:桑名市観光マップ

4)祭事・イベント等

- 河川空間でのイベントは、桑名城跡周辺での「舟めぐり」や揖斐川河畔での「水郷花火大会」が開催されています。
- まちなかでのイベントは、サクラなど花に関するイベントや金魚まつり、神社のお祭りなどが開催されています。

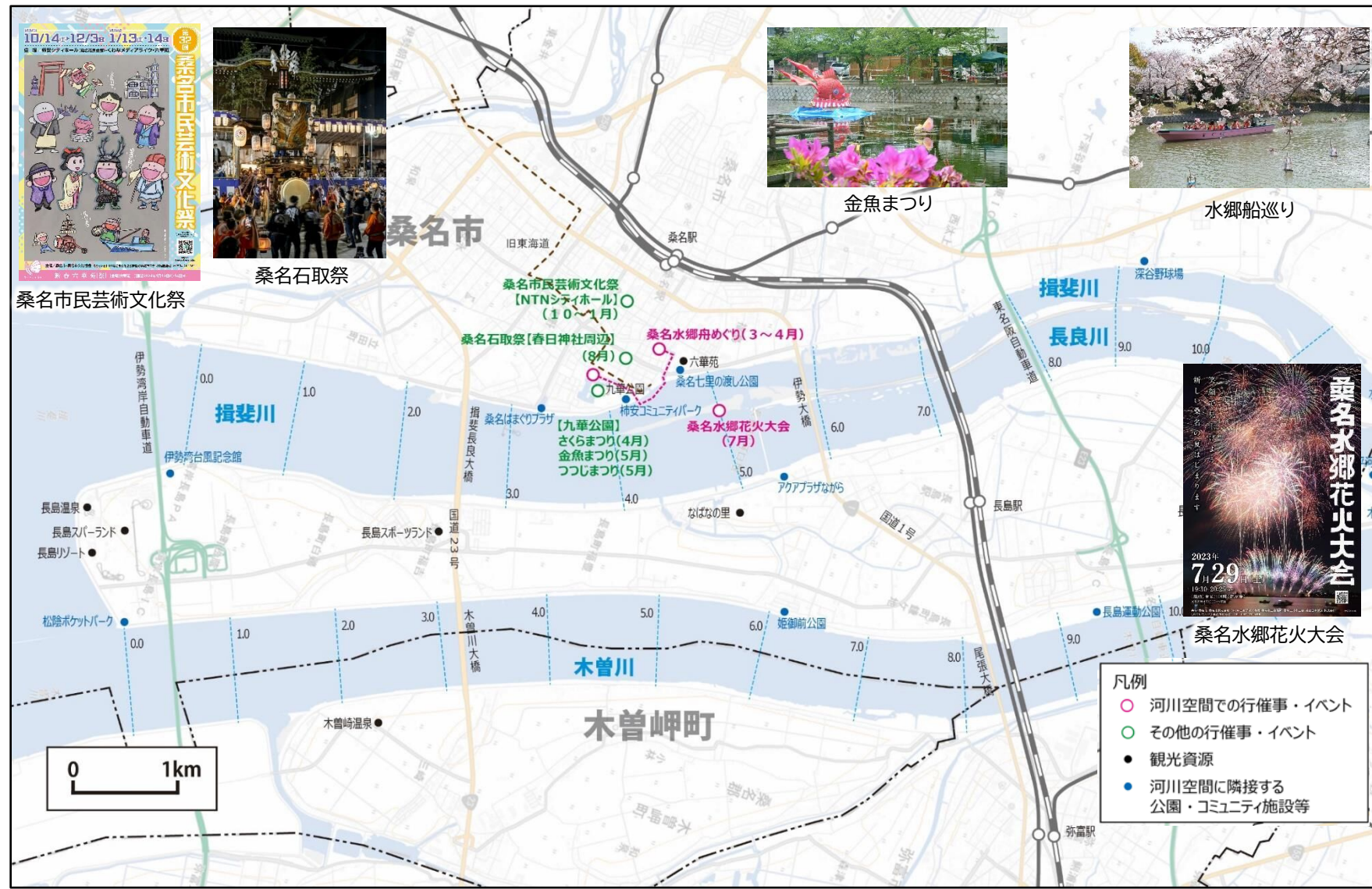


図2.6 祭事・イベント

出典:桑名市HP、観光マップ

(2)計画地周辺の現況

- 計画地には、伊勢国の玄関口となる七里の渡跡や蟠龍橋、住吉神社などの地域資源があるほか、柿安コミュニティパークや三之丸公園、七里の渡し公園などのオープンスペースが点在しています。
- まち側には、東海道や美濃街道が通り、春日神社や六華苑、諸戸氏庭園、九華公園など、桑名宿として栄えた寺院や史跡が点在しています。また、寺町通り商店街では、三八市(朝市)が開催されるなど商人のまちとして活気のある姿が見られます。



図2.7 計画地周辺の現況図

3. 取組み経緯

3.取り組み経緯

(1)桑名市かわまちづくり協議会

1)概要

- 桑名市では観光都市を創造するため、文化的・歴史的資源が多く存在するだけでなく、開放的な水辺の景観を楽しむことができる魅力的資源を最大限に活用し、公民連携による持続可能な賑わいを創出するために、「桑名市かわまちづくり協議会」を設置しました。

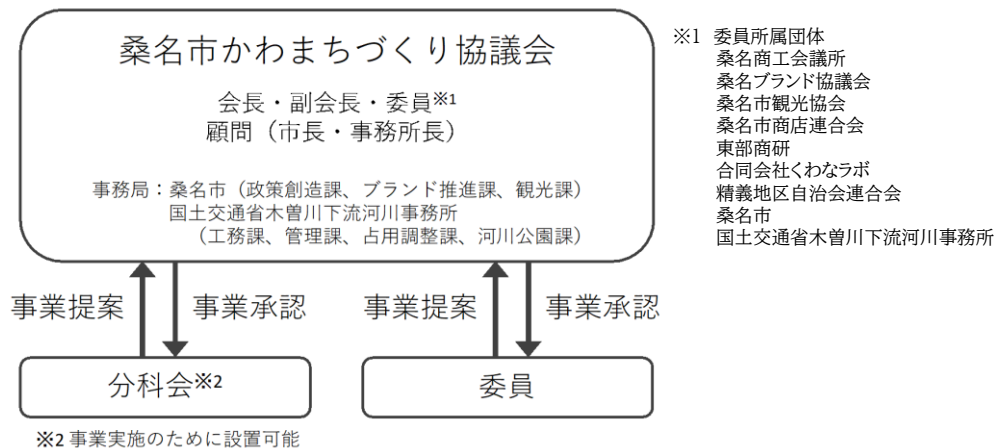


図3.1 地域の合意形成のイメージ



図3.2 協議会の開催状況

2)これまでの開催状況

■第1回(令和3年10月11日)

民間団体による水辺及び公園などの公共用地の利用促進や、施設整備も含めた活動支援を、実施主体として取り組むことについて確認しました。

■第2回(令和4年6月7日)

「ミズベリング会議(以下、分科会)」の設置、及びその取り組みについて承認を得ました。
持続的な賑わいを創る民間事業者の提案募集等の手法について承認を得ました。

■第3回(令和4年1月24日)

水辺の将来イメージの実現に向け、事業者からの提案を受け付け、令和5年度の社会実験等を経て、都市地域再生等利用区域の指定を目指すロードマップを示しました。

■第4回(令和5年8月7日)

サウンディング型市場調査の第1期の実施状況の報告、及び第2期の実施が承認されました。
委員による企画提案がありました。

■第5回(令和5年12月25日)

.....

.....

■第6回(令和6年2月19日)

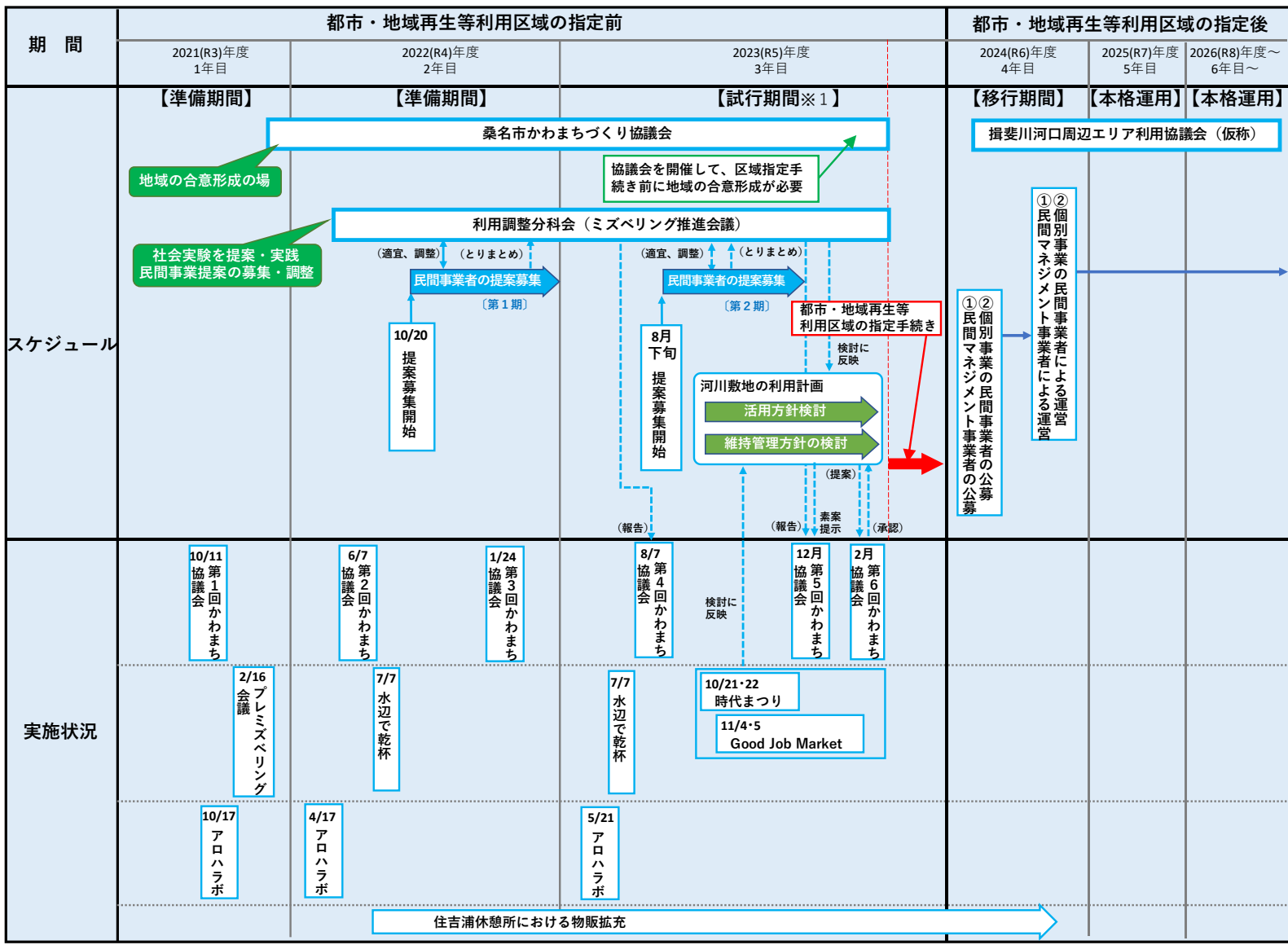
.....

.....



(2)これまでの取り組み

- 桑名市かわまちづくり協議会を設立(R3.10)し、都市・地域再生等利用区域の指定を目指して、協議会等による取り組みを実践するとともに、民間事業者の提案募集を実施して、水辺空間の新たな利活用の方向性について検討してきました。



※1：民間事業者の提案状況により、試行期間を延長する可能性がある。

図3.3 水辺空間利活用の取り組みの流れ

3.取組経緯

(3)各種取組概要

■取り組み

協議会主体の取り組み

▶プレミズベリング会議

目的 かわまちづくりの出発点として、桑名の水辺空間を愛する有志を募り、今後の水の利活用アイデアを出し合い、イメージを共有すること
 内容 ワークショップ・意見交換会

▶水辺で乾杯

目的 プレミズベリング会議で共有した利活用イメージ実現に向けて効果検証し、課題解決に向けて検討すること
 調査 アンケート調査、簡易照度・騒音調査

▶第1期サウンディング型市場調査

目的 対象地区にある豊富な資源を活用した持続的な賑わい実現のための事業として、民間事業者自らが実施できるアイデアを募集
 調査 提案事業者へのヒアリング

委員提案による取り組み

目的 水辺空間の利活用による賑わい創出を実現するために、委員提案の取り組みを実施し、イベントの利用者や出店者のニーズを把握するとともに、実施の課題等を把握する

調査 参加者、出店者、運営者に対して、webアンケート調査

実績 くわな商工まつり、桑名時代まつり、灯街道桑名宿 Good Job Market

■令和3年度

- 令和3年度は、桑名市かわまちづくり協議会を設立し、水辺活用の試行がスタートするとともに、プレミズベリング会議にて水辺の未来を語り合いました。



第1回桑名市かわまちづくり協議会

ALOHA lab.#1

- 実施主体 くわなラボ
- 実施場所 柿安コミュニティパーク、及び、隣接する河川堤防上
- 実施内容 チアダンス、フラダンス、ウクレレ等のステージ企画やキッチンカーや各ブースでの物販を実施

第1回アロハラボ広報

プレミズベリング会議

- 実施主体 桑名市かわまちづくり協議会
- 実施場所 桑名七里の渡し公園休憩所
- 実施内容 地域の未来を語り合う場として、水辺を愛する有志による会議を開催。「ミズベリングディレクター」よりミズベの可能性を語っていただいたのち、参加者間で桑名の水辺の利用アイデアを発言

現地参加者
web参加者

参加者の意見から、その場で利活用イメージを作成



水辺空間利活用アイデア

七里の渡し周辺における利用実態調査(アンケート調査)

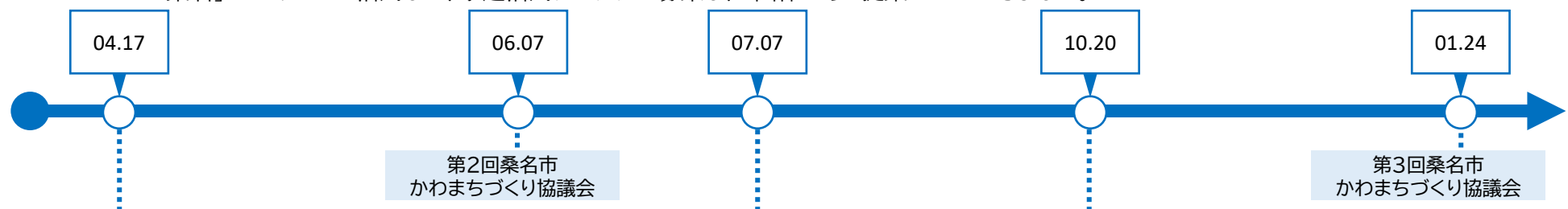
- ・利用者に河川空間に求めるものややってみたいことなどについてヒアリング

水辺空間利活用イメージ

(3)各種取組概要

■令和4年度

- 令和4年度は、プレミズベリング会議で共有された水辺の将来イメージの一部を実践するため、全国的に実施されている「水辺で乾杯」に合わせて、試行企画を開催しました。
- 「コラボ・ラボ桑名」のスキームを活用して、水辺活用アイデアを募集し、3団体から6提案をいただきました。



ALOHA lab.#2

- 実施主体 くわなラボ
- 実施場所 柿安コミュニティパーク、及び、隣接する河川堤防上

4月17日(SUN)
10:00~15:00
@柿安コミュニティパーク

小雨決行・雨天順延(24日)
近隣 ㊦あり

家族と友人と恋人と
ハワイアンイベントが桑名で楽しめる!

ALOHA lab.

第2回アロハラボ広報

- 2022水辺で乾杯**
- 実施主体 桑名市かわまちづくり協議会
 - 実施場所 住吉神社付近
 - 実施内容 全国的に実施される「水辺で乾杯」に合わせて開催
会場には、ステージサイト、七輪サイト、七夕サイト、チェアサイトを設け、パフォーマンスやキッチンカーによる物販を実施
参加者、出店者、出演者にはアンケート調査を実施



- サウンディング型市場調査**
- 実施主体 桑名市かわまちづくり協議会
 - 実施内容 民間団体による提案募集



項目	内容
調査名	揖斐川河口周辺エリアを活用した賑わい創出に向けたサウンディング型市場調査
実施主体	桑名市かわまちづくり協議会
提案内容	(1) にぎわい創出事業の基本的な考え方 (2) 対話内容 事業全体コンセプト、や事業内容、収益体制などに対する意見や提案 (3) 提案事項 1) 事業全体のコンセプト 2) 事業内容(活動内容、事業の継続性、予算概要) 3) 地元消費等の地域貢献に繋がる提案等
対象用地 対象施設	(1) 堤防ゾーン (2) 高水敷ゾーン (3) 緑地ゾーン (4) 駐車場ゾーン 
提出期限	令和5年3月31日
参加団体	3団体
提案数	6提案

(3)各種取組概要

■令和5年度

● 令和5年度は、これまでのかわまちづくり協議会の継続開催や民間提案募集により、水辺空間利活用への意識の高まりもあって、複数の委員提案企画に基づき、水辺空間利活用の試行が行われました。



ALOHA lab.#3

- 実施主体 合同会社くわなラボ
●実施場所 柿安コミュニティパーク、及び、隣接する河川堤防上
●実施内容 ステージイベント、展示販売、縁日、キッチンカーの出店等

ALOHA lab.#3 2023/5/21 (SUN) 10:00~15:00 @柿安コミュニティパーク
Includes a detailed schedule for the event with categories like booth, kitchen car, and play.



ステージの様子

第4回桑名市かわまちづくり協議会

くわな商工まつり・桑名時代まつり・灯街道 桑名宿

- 実施主体 桑名市商工会議所、桑名時代まつり実行委員会
●実施場所 柿安コミュニティパーク周辺、及び、隣接する河川堤防上
●実施内容 灯籠によるライトアップ、ステージイベント、地域特産品の展示販売、職業・文化体験、キッチンカーの出店、時代行列等



灯街道 桑名宿 キッチンカー出店 時代行列

水辺で乾杯

- 実施主体 桑名市かわまちづくり協議会、合同会社くわなラボ
●実施場所 国営桑名七里の渡し公園
●実施内容 公園の夜間利用、休憩施設の活用



サイト位置図

開催状況

- ・ピアガーデン
・一般サイト
・縁日サイト

Good Job Market

- 実施主体 桑名市観光協会
●実施場所 柿安コミュニティパーク、三之丸公園、及び、隣接する河川堤防上
●実施内容 約130店舗のfood、雑貨、服、物が集まる三重県最大級のマーケット
・食品、雑貨販売(2日間で約290店舗)
・アーティストによる音楽イベント
・子供向け玩具(木製ジャングルジム)
・歴史スタンプラリー
●テーマ 良い仕事(ヒト・モノ・コト)に出会えるマーケット
●コンセプト 地域の活性化に貢献できるイベントへ魅力のあふれる「桑名」を知ってもらい市内外から人の集まるマチへチャレンジしたい人が活躍できるきっかけの場を作り、桑名の自然・文化・歴史資源を活かした持続可能なイベントにしたい



物販ブースの様子



飲食ブースの様子



桑名ブースの様子



音楽ブースの様子



体験ブースの様子

(3)各種取組概要

「ミズベラボクわな」プロジェクト

- 桑名で働く国・県・市の若手職員と桑名の若手民間事業者などによる多様な視点を持つチームを結成し、「ミズベラボクわな」プロジェクトを提案されました。
- これまで、5回の活動を行い、賑わいのポテンシャルを秘める旧桑名宿付近の揖斐川河畔地域を対象に、さらなるプラスアルファの魅力を発掘・開発し、盛り上げる計画を検討しています。

すでにある魅力・価値

- ・古い建物、町並み、商店街
- ・近代化の遺産
- ・古来より続く蛤漁と、奇祭
- ・広い河川空間の心地よさ

本プロジェクトですること

- ・いまある魅力に何を+αするか、考え、話し合い、計画にする
- ・他機関職員・商工関係者・住民の方々と一緒に川辺の場を作る

ここが住民・観光客両方の「目的地」になり、賑わいが自然発生
水辺が、地域が、盛り上がる



図3.4 「ミズベラボクわな」の開催状況

プロジェクト案①

(仮称)九華リバーサイドテラス

～seasonオレンジ～

- ・「水辺」のポテンシャルを活かした「憩いの場」を創出し、水辺空間のブランド価値を高める
- ・イベント等の賑わいコンテンツを仕掛け、地域経済の活性化や産業促進を図る

<取り組み例>

①憩いの場の創出

- ・ウッドデッキ、イス、机、パラソルの設置
- ・秋らしい装飾
- ・オレンジがかかった暖色系の照明演出

②イベントの開催(市内外のグルメ、食関連)

- ・月1回くらいの1日単独イベント



イベント開催イメージ



暖色系の照明演出イメージ

プロジェクト案②

リバースポーツin桑名

- ・住吉浦地区での水面利用イベントの開催
- ・川遊び場所としてのアピール

<取り組み例>

①水面利用イベント

- ・SUP体験
揖斐川を出発点とし、玉重橋方面を案内
- ・ウォーターバルーン体験会
住吉浦周辺から揖斐川河畔で実施

②アートイベント

- ・水面に仮設栈橋を設置し、ライトアップ



水面利用イメージ

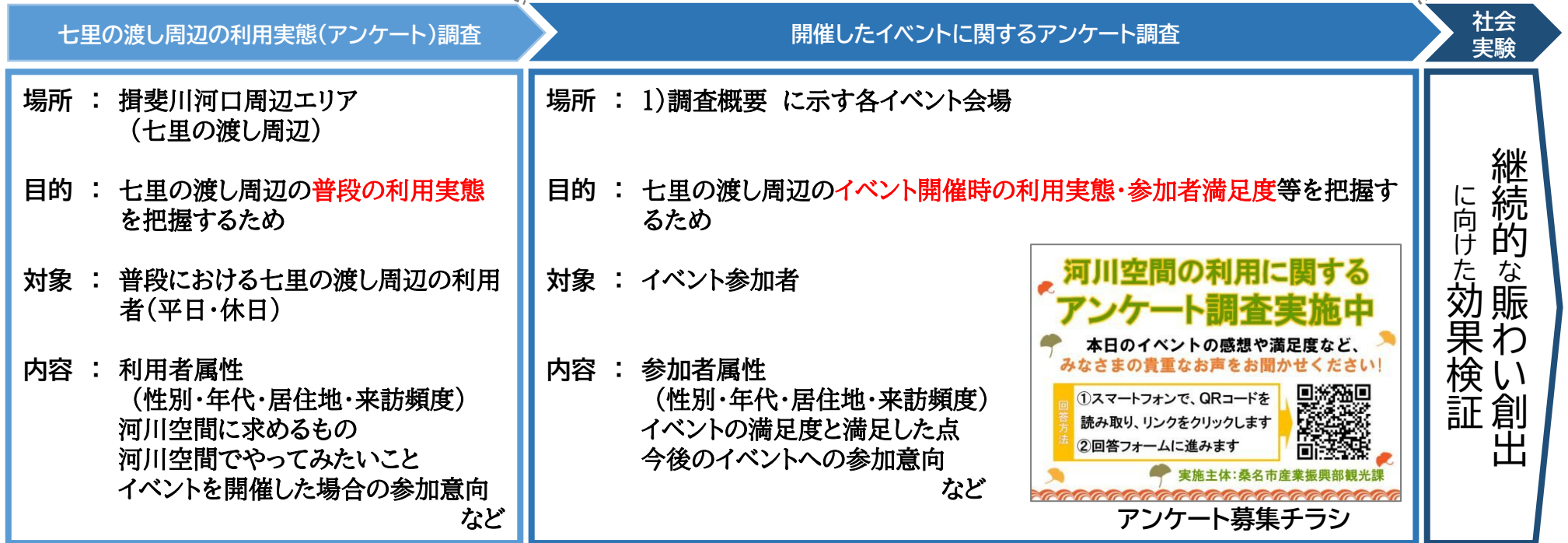
(4)取組の実施による効果検証 -アンケート調査-

1)調査概要

名称	平常時	イベント時					
		水辺で乾杯	アロハラボ	水辺で乾杯	The Hanabi Park	くわな商工まつり 桑名時代まつり	GJM (Good Job Market)
実施日	R4.6.19-20 9時~17時	R4.7.7 18時~20時	R5.5.21 10時~15時	R5.7.7 17時~20時半	R5.7.29 15時~21時半	R5.10.21-22 10時~16時,17時~21時	R5.11.4-5 10時~16時
サンプル	138	38	71	57	10	37	320
会場	七里の渡し周辺	七里の渡し周辺	柿安コミュニティ パーク	七里の渡し公園	七里の渡し公園	柿安コミュニティパーク	柿安コミュニティパーク、 三之丸公園
企画内容	-	ステージ企画、飲 食出店、 テーブルサイト	ステージ企画 飲食出店	BBQ	花火鑑賞 飲み物提供	飲食・物販、 ステージイベント	飲食・物販・体験ブース、 音楽イベント

一般利用者合計: 241件参加者合計: 430件

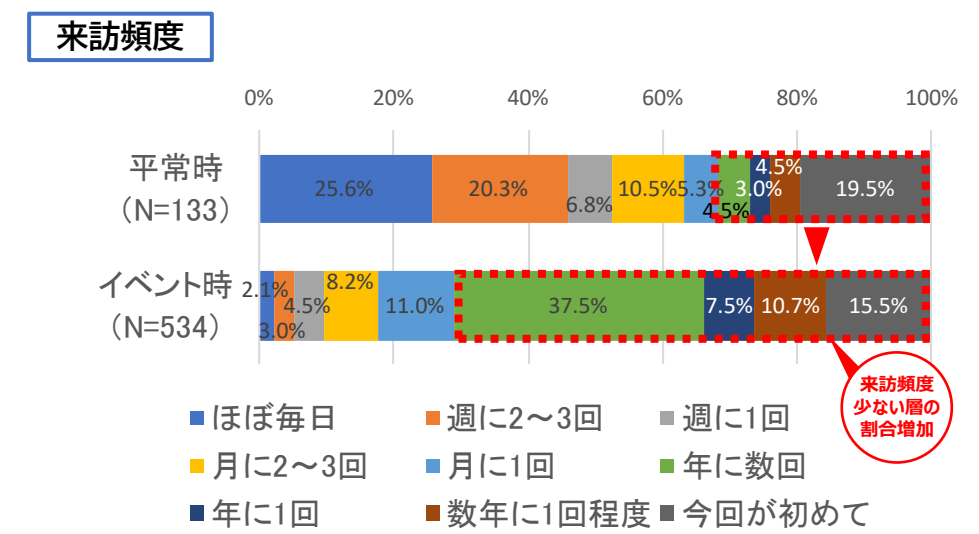
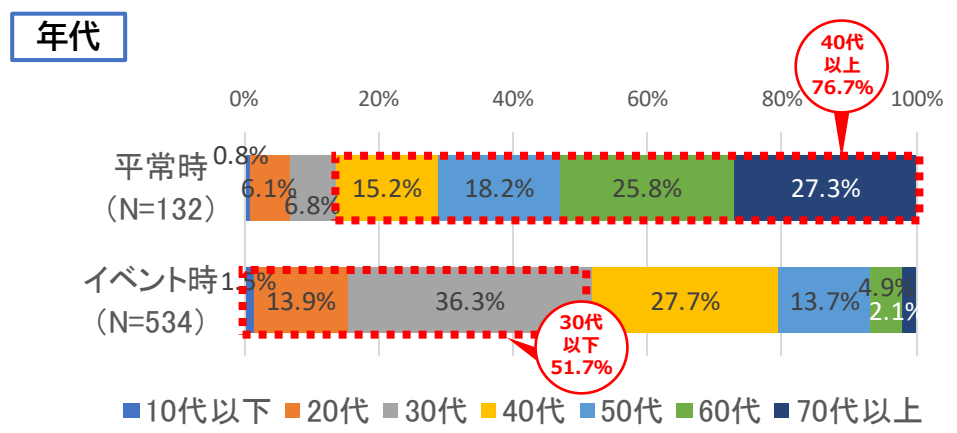
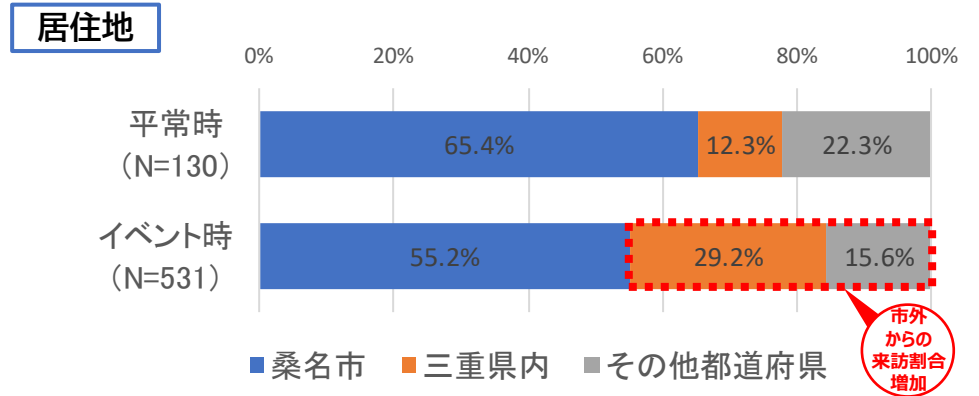
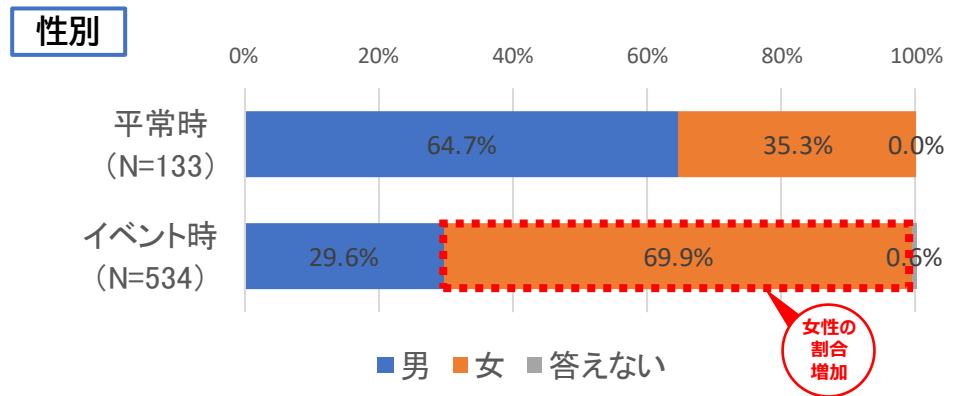
2)目的



3)調査結果

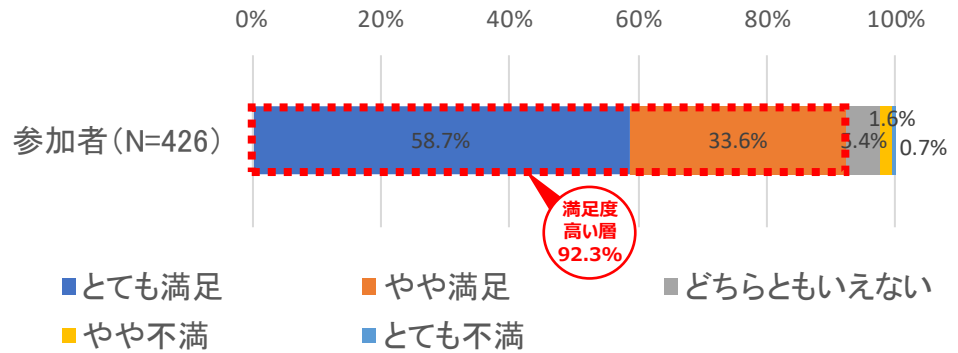
① 属性

- 七里の渡し周辺を訪れる方は、平常時は男性の割合が高いですが、イベント時には女性の割合が高くなっています。
- 居住地は、平常時は桑名市内の方の割合が高く、イベント時には市外からの来訪が増加しています。
- 平常時は40歳代以上が76.7%を占めていますが、イベント実施により若者(20~30歳代)の利用が大幅に増加しています。
- イベントの実施により、普段あまり来訪しない「年に数回」以下の来訪頻度の方の割合が70%以上に増加したことが確認できました。



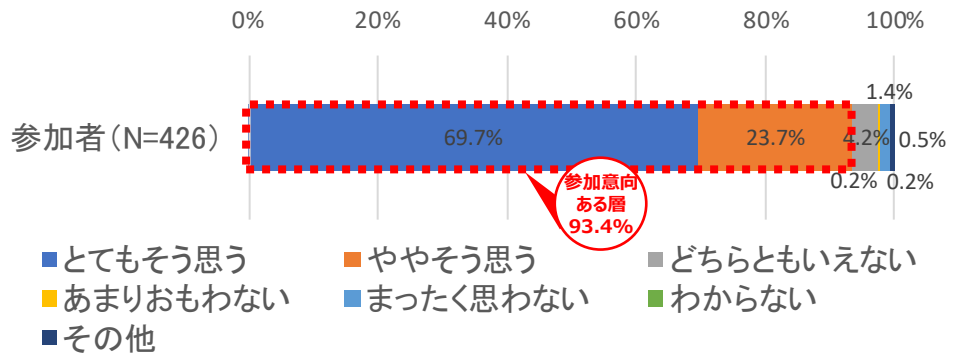
②イベント参加の満足度

- これまで開催してきたイベント参加者の満足度は高く、回答者の90%以上の方が「とても満足」「やや満足」と回答されています。
- これまで開催してきたイベントの内容に関しては、七里の渡し周辺において利用者のニーズとマッチしていると考えられます。



④今後の参加意向

- 今後も七里の渡し周辺でイベントを開催した場合の参加意向については、回答者の93%が「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答しています。
- 今後も定期・不定期によらず、七里の渡し周辺でイベント開催することで集客が期待でき、水辺空間の賑わいづくりに寄与すると想定されます。



③満足した点

- 各イベントでの満足した点は、以下のとおりです。

ALOHA lab

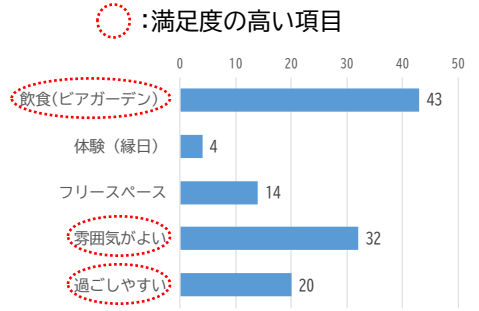
- 雰囲気のよい空間であること
- 過ごしやすい空間であること

The Hanabi Park

- 会場内にトイレがあること
- 会場内の芝生が良かった

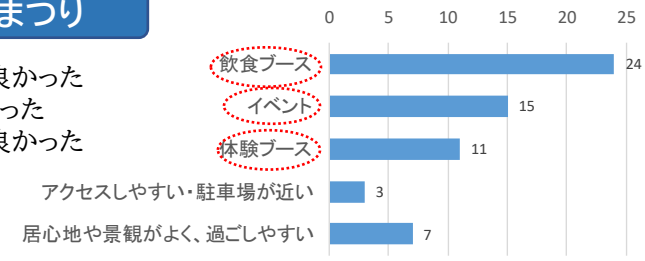
水辺で乾杯2023

- 水辺で飲食(ビアガーデン)に参加できたこと
- 雰囲気のよい空間であること
- 過ごしやすい空間であること



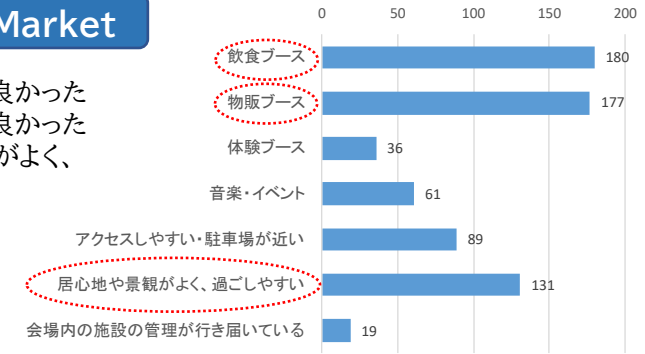
くわな商工まつり

- 飲食ブースが良かった
- イベントが良かった
- 体験ブースが良かった



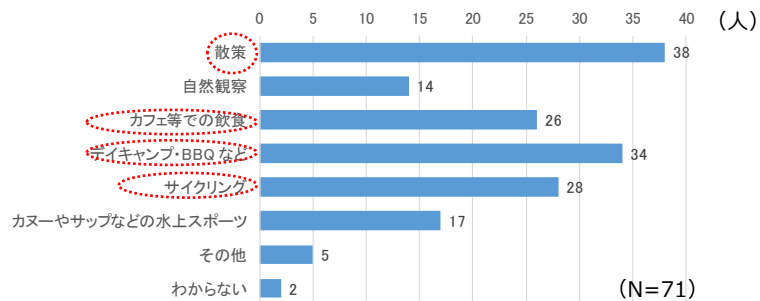
Good Job Market

- 飲食ブースが良かった
- 物販ブースが良かった
- 居心地や景観がよく、過ごしやすい



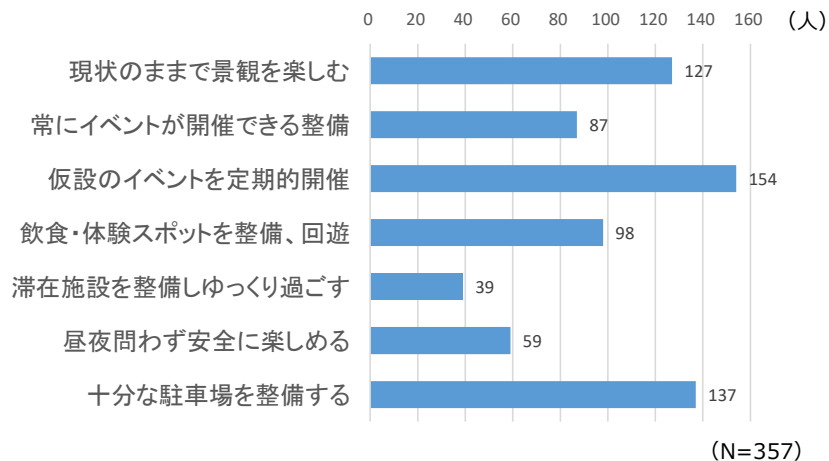
⑤今後の利活用について

- 水辺空間で散策やデイキャンプ・BBQをしてみたいという声が多くあがっています。



○: 利活用ニーズの高い項目 (ALOHA lab #3 調査)

- 水辺空間の利活用の方向性については、さまざまな意見が寄せられています。イベントの定期開催や駐車場の整備は特に要望が高い項目です。

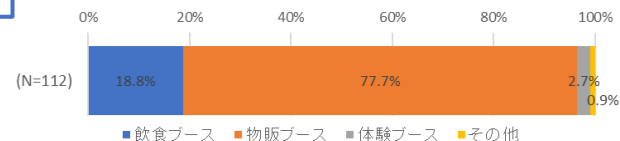


(くわな商工まつり+Good Job Market調査)

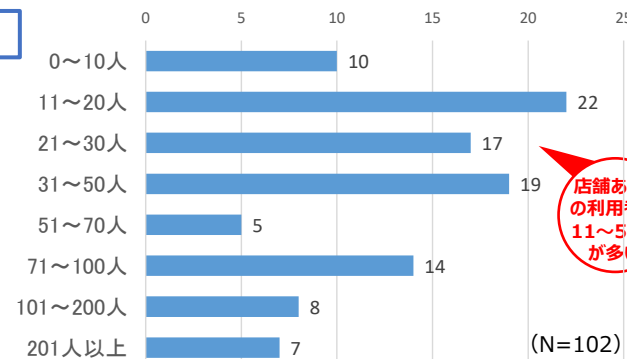
【参考】イベント出店者の現状

- イベント出店者を対象にアンケートを実施しました。出店内容は物販が最も多く、8割弱を占めています。バリエーションに富む出店のため利用者数、売上金額ともに幅が広いのが特徴です。

出店内容

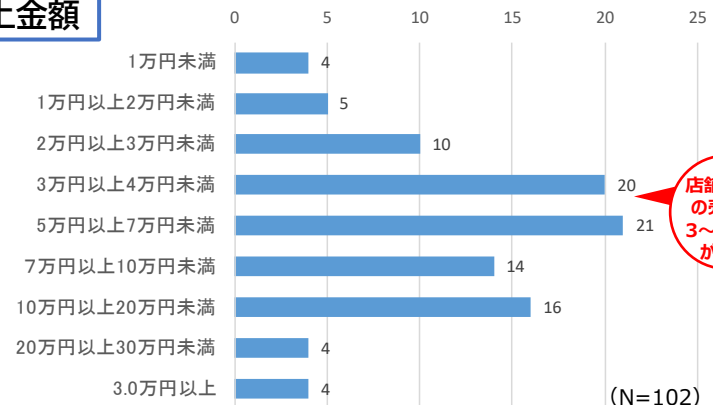


利用者数



店舗あたりの利用者は11~50人が多い

売上金額



店舗あたりの売上は3~7万円が多い

(5)取組の実施による周辺への影響調査について

- 昼夜における、イベント開催による近隣住宅等への影響を把握するために、騒音調査と照度調査を行いました。
- イベント時の駐車場利用状況及び駐車場の待ち列による周辺の道路状況の把握ができていなかったため、状況確認を行いました。

調査	実施日時	内容	備考
騒音調査	R04.07.07 R05.05.21	イベント会場周辺の近隣住宅への影響を調査	昼間、夜間
照度調査	R04.07.07	イベント会場周辺の近隣住宅への影響を調査	夜間
駐車場利用状況調査	R05.07.07	イベント会場	

■騒音

・昼間及び夜間、それぞれのイベントにおいて騒音調査を実施しましたが、近隣住宅への影響はほとんどないことが確認できました。

■明るさ

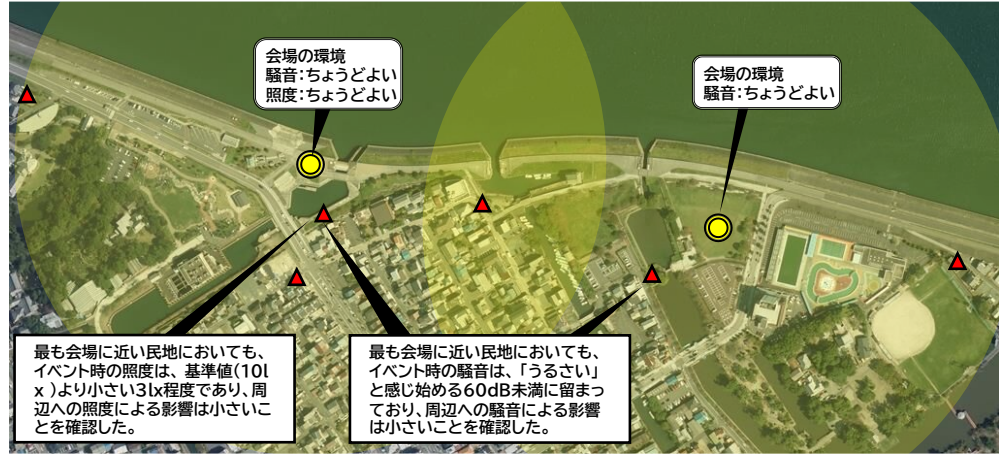
・夜間イベント時の照明が近隣住宅へ及ぼす影響はほとんどないことが確認できました。

■駐車場利用状況

- ・駐車場の利用状況は、イベントによって異なることが考えられますが、令和5年に実施した水辺で乾杯の際は、会場から最も近い駐車場には40台近く駐車していましたが、駐車場の容量を超えることはありませんでした。また、周辺道路へ待ち列が伸びることもありませんでした。
- ・住吉神社付近と柿安精肉店付近で同時にイベントを開催した場合は駐車場の容量を超え、周辺道路への影響も発生する可能性も考えられます。
- ・その対応策として、既設の駐車場以外に、イベント開催時のみ開設できるような駐車スペースを確保することが考えられます。



図3.5 駐車場待ち列による渋滞(R5.5.21)



● 音響調査の範囲 ● イベント会場 ▲ 調査地点

□ 利用者による評価 □ 調査結果

施設名	営業時間	駐車可能台数	利用料金
市民プール九華公園野球場 駐車場	?	?	250円
六華苑第一駐車場	9時～17時	45台	無料
六華苑第二駐車場	9時～17時	バス5台 車23台	無料
六華苑第三駐車場	9時～17時	14台	無料
桑名七里の渡し公園 暫定駐車場	3月～11月 9:00～17:00 12月～2月 9:00～16:30	21台	無料
桑名七里の渡し公園 暫定駐車場	3月～11月 9:00～17:00 12月～2月 9:00～16:30	6台	無料
柿安コミュニティパーク 駐車場	4月～10月 9:00～18:00 11月～3月 10:00～17:00	普通車 66台 大型車(バス等) 3台 単車(バイク等) 2台	普通車 250円 大型車(バス等) 1,010円 単車(バイク等) 120円



図3.6 六華苑第2駐車場



図3.7 柿安コミュニティパーク駐車場

4.水辺空間の利活用計画

4.水辺空間の活用について

(1)計画区域

- 計画区域は、図4.1に示すように、延長約1.8kmの河川敷地です。



図4.1 計画区域図

(2)利活用の方針

- 以下の利活用の方針に基づき、日常的な利用や週末を中心とした賑わい創出に向けた取り組みなどを実施します。それにあたっては、計画区域に隣接する公園や駐車場等を一体的に利活用することにより、このエリアに様々な方が集い、賑わいの創出を目指します。

▶水辺の憩い場を創出する

- 自然景観を楽しみ、歴史をゆったり体感するような、心地よく憩う空間活用を目指します。
- 散歩やジョギングなど日常的に利用する人にとっても憩う場、会話などの交流がうまれる場を目指します。

▶水辺で賑わう

- 利用拠点においてオープンカフェやマルシェ・ステージ企画、キャンプ、スポーツアクティビティなどを実施し、賑わいの創出を目指します。
- 新たな観光客のニーズを満たすことができる桑名らしさが光る賑わいづくりを目指します。

▶地域とつながる

- 中心市街地などの地域と賑わいがつながる場となり、桑名らしい文化や体験ができる場としての仕組みづくりとその情報発信を目指します。



図4.2 利用拠点図

4.水辺空間の活用について

(3)利活用の可能性

● 水辺空間の利活用の可能性として、利活用の方針に基づく利用イメージを以下に示します。

▶賑わい創出

- ・ 水辺を身近に感じられる「マルシェ」や「キッチンカー」、「ステージ企画」等の小規模イベント等の開催により、賑わい拠点になると期待できます。
- ・ また、高水敷であるため、水辺空間の自然の中で「BBQ」「キャンプ」などのアウトドア体験もできそうです。
- ・ 住吉浦には、船着き場が設けられており、最も水面に近づくことのできる場所です。
- ・ 水上アクティビティ体験イベントの拠点としての利用も考えられます。

▶憩いの場の提供

- ・ 仮設の川床や親水空間を整備できると、自然の中でくつろぎ、憩いの場となります。
- ・ 常設のカフェやレストラン、ギャラリー等の整備により長時間滞在を可能にします。

▶その他の利活用

- ・ イベント開催による近隣への影響を最小にするために、高水敷の駐車場利用は有効だと考えられます。

<p>賑わい▲</p>  <p>マルシェイベント (飲食店・売店)</p>  <p>音楽・ダンスイベント (照明音響施設)</p>  <p>キッチンカー (飲食店)</p>	 <p>BBQ場・キャンプ場</p>  <p>カフェ・レストラン (飲食店・オープンカフェ)</p>
<p>仮設</p>  <p>水上アクティビティ (船着場)</p>  <p>川床・日よけ</p> <p>その他利用</p>  <p>高水敷の駐車場利用</p>  <p>舟運 (船着場)</p>	<p>常設</p>  <p>ランニング・サイクリング ステーション</p>  <p>売店・案内所</p>  <p>ギャラリー (売店)</p>
<p>憩い▼</p>	

公園

- ・ 公園は休憩施設やトイレがあり、催事会場として望ましい場所です。
- ・ これまで開催された地域イベントでは、多様な世代の方が、市内外問わず参加され、賑わいを見せています。
- ・ 駐車場の一部区画を利用した移動販売やモビリティの拠点としての活用も考えられます。

 <p>マルシェイベント</p>	 <p>健康増進イベント</p>	 <p>ステージ企画</p>	 <p>駐車場の活用</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

4.水辺空間の利活用について

■利活用イメージ(例)

- 水辺空間の利活用の展開イメージを一例として、以下に示します。それぞれの空間の特徴を活かすことにより、水辺空間の利活用の可能性も広がります。

高水敷の駐車場利用
(R5. Good Job Market)

水辺のステージイベント・テラス
(R4. 水辺で乾杯)

水辺をつなぐ舟運
(住吉浦船着場)

ウォーターアクティビティ
(SUP・カヌー等)

水辺でのアウトドア体験
(BBQ・デイキャンプ・キャンプ等)
(足羽川 AQUAテラス)

堤防と公園の一体利用

公園での賑わいイベント
(R5. 水辺で乾杯)

緑あふれる公園を活かしたイベント
(ステージ企画・遊具・マルシェ等)

利用拠点

案内・物販等

堤防上での賑わいイベント

テラス利用

河川区域

駐車場、住吉浦 休憩施設、住吉神社、桑名七里の渡し公園、住吉浦 船着き場、七里の渡跡、三之丸公園、榑籠橋、トイレ、榑安コミュニティパーク、駐車場

- ・宮の渡し (名古屋市熱田区)
- ・長良川河口堰 等八

図4.3 水辺空間の利活用イメージ(例)

ステージイベント等 (R5. 時代まつり・くわな商工まつり)

マルシェイベント (R5. Good Job Market)

ダンスイベント (アロハラボ)

(5)利活用イメージパース

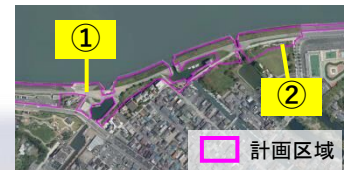


図4.4 ①住吉神社周辺

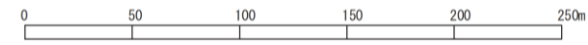


図4.5 ②柿安コミュニティパーク周辺

4.水辺空間の利活用について

参考)利活用条件図(案)

□ 計画区域 - - - 河川区域



名称	概要	想定される利用例
高水敷ゾーン	河川堤防より低い高水敷を利用するゾーン。水面に最も近く、魅力的な場所であるが、柵がない区間もあり、利用には安全管理が必要である。舗装部は、臨時駐車場としての利用も可能である。	オープンテラスカフェ、ステージイベント、アウトドアサイト、臨時駐車場等
堤防ゾーン	一般利用者が日常利用で最も利用しているゾーン。一般利用者の通行幅員を確保したうえで、河川堤防上の空間を利用することが可能とする。	マルシェイベント、オープンテラスカフェ等
緑地ゾーン	河川堤防の内側の緑地にあたるゾーン。河川管理上、支障がないと判断された場合には、仮設施設の設置を可能とする。	マルシェイベント、ステージイベント、オープンテラスカフェ、仮設店舗設置等
駐車場ゾーン	河川堤防の内側に整備された六華苑第2駐車場の利用を想定し、その駐車場の一般利用を妨げない場合は利用を可能とする。	キッチンカー、移動販売等
水面利用ゾーン	揖斐川本川(住吉神社前)、及び住吉浦の水面にあたるゾーン。揖斐川本川の階段護岸、及び防災船着場からの利用を想定する。	SUP等の水上アクティビティの体験・イベント開催等

図4.6 利活用条件図

(6)利活用・維持管理に向けた仕組みづくり

- 今後、本計画に定めた水辺空間の利活用を進め、持続的な地域活性化を目指して、「揖斐川河口周辺エリア利用協議会(仮称)」を設立し、七里の渡し地区の具体的な水辺空間の利用形態について協議し、官民一体となって取り組みを進めていきます。

都市・地域再生等利用区域指定前

指定前は、桑名市、及び協議会委員の提案に基づき、水辺空間の利活用に向けて、「桑名市かわまちづくり協議会」において合意された取り組みを試行してきました。

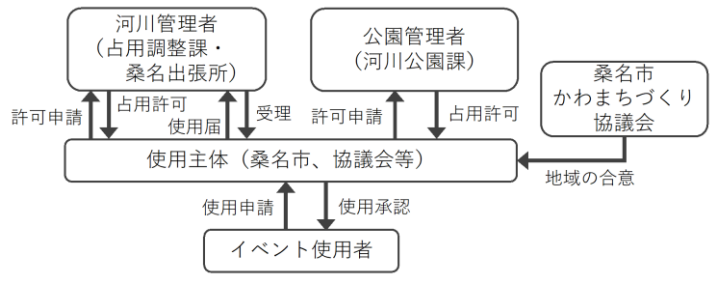


図4.7 事業スキーム(指定前)

都市・地域再生等利用区域指定後

指定後は、桑名市が占有主体となり、「揖斐川河口周辺エリア利用協議会(仮称)」において合意された方法で、マネジメント事業者を公募選定し、水辺空間の利活用の取り組みを継続し、持続的な地域活性化を目指します。

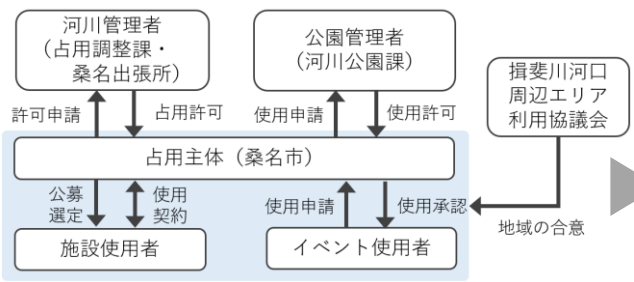


図4.8 事業スキーム(マネジメント事業者運用前)

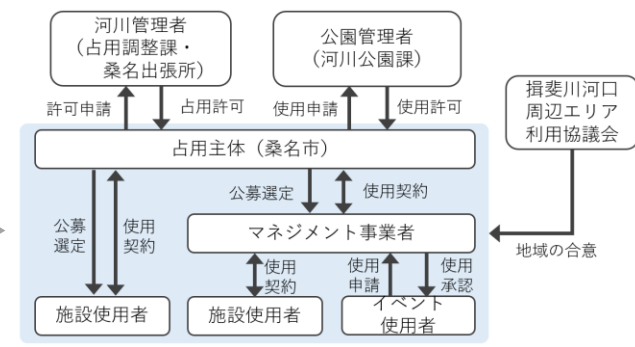


図4.9 事業スキーム(マネジメント事業者運用後)

■ 地域の合意の場： 桑名市かわまちづくり協議会

項目	内容
協議会の位置づけ	民間が主体となる水辺空間や公園空間における多様な活用、民間主導の活動支援のための施設整備に関すること、及び分科会が提案する事業について連携・調整する事業について、指導、監督及び承認等に関することを所掌する。
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名商工会議所 ・桑名市観光協会 ・東部商研 ・桑名市 ・国土交通省 木曾川下流河川事務所 ・桑名ブランド協議会 ・桑名市商店連合会 ・合同会社くわなラボ ・精義地区自治会連合会
事務局	顧問：桑名市長、木曾川下流河川事務所長 桑名市(政策創造課、ブランド推進課、観光課) 国土交通省 木曾川下流河川事務所(工務課、管理課、占有調整課、河川公園課、桑名流域治水出張所)

■ 地域の合意の場： 揖斐川河口周辺エリア利用協議会(仮称)

項目	内容
協議会の位置づけ	民間が主体となる水辺空間や公園空間における多様な活用して、連携・調整する事業について、指導、監督及び承認等に関することを所掌する。
メンバー(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名商工会議所 ・桑名市観光協会 ・東部商研 ・桑名市 ・桑名ブランド協議会 ・桑名市商店連合会 ・くわなラボ ・精義地区自治会連合会 【オブザーバー】 国土交通省 木曾川下流河川事務所 (管理課、占有調整課、河川公園課、工務課、桑名流域治水出張所)
事務局	桑名市(政策創造課、ブランド推進課、観光課)

4.水辺空間の利活用について

(7)取組体制

- 利用する河川敷地の維持管理及び活動主体は以下の通りです。河川維持管理及び利活用は官民が一体となって取り組むものとし、そのルールづくりや調整は、「揖斐川河口周辺エリア利用協議会(仮称)」で協議を進めていきます。

表4.1 維持管理計画(案)

桑名市かわまちづくり協議会
による協議・検討揖斐川河口周辺エリア利用協
議会による調整・協議

	内容	河川管理者	桑名市	マネジメント事業者
都市・地域再生等利 用区域指定前	占有許可・使用許可申請	◎	◎(使用主体)	
	利活用区域の選定	○	○	—
	利活用に関するルール(施設設置・維持管理)の設定	○	○	—
都市・地域再生等利 用区域指定後	年間を通じた利活用計画の策定	○	○	◎
	利活用に必要なハード整備(スロープ・柵・照明等)	—	▲	◎
	利活用に必要な仮設施設の設置・撤去・管理 (テント・日よけ・テーブル・ベンチ・トイレなど)	—	▲	◎
	駐車場(※駐車スペースとしての設置)	—	▲	◎
	利活用中の環境維持・会場運営(清掃・警備など)	—	▲	◎
	災害時(出水等)の対応	◎	◎	◎

◎:主として担当する ○:構成員(メンバー・オブザーバー)として担当する ▲:使用状況を管理する —:該当なし

■ 計画地周辺の便益施設の状況

- 計画地周辺の便益施設として、住吉浦休憩施設やトイレがあります。
- 計画地周辺の駐車場は、市営駐車場1箇所、国営公園利用者用の駐車場2箇所があります。



図4.9 便益施設の立地状況